

第1レース 《日本生まれのヒット曲》

岡村の



当レースの本命

このカテゴリーは演歌から最近の曲まで選択肢が広く、当日のお客様の層次第ではどこに集中するのか全く分からない。そんな中、私が大本命と思うのはやはりAKB48のヘビローテーションだ。説明不要の知名度で票の集中が予測できる。また、この曲の作詞を行った秋元康は、実は川の流れるように（美空ひばり）も作詞している。これを踏まえながら改めて聴くとずいぶんとまた違った印象が見えてくる。

大穴・番狂わせ

この本命の牙城を崩す可能性を秘めているのは坂本九の明日があるさであろう。その昔に缶コーヒーのCMで一世を風靡したが、このラインナップの中で輝くことができるのか。お父さん方の支持次第では大きく票を伸ばす可能性もあり、期待を込めたい一曲である。



曲名		作曲者	編曲者	予想師	ダニエル さきっちよ なかじ かいがい まいまい	難易度	演奏頻度	特徴	曲紹介 by ダニエル
1	明日があるさ	中村八大	山下国俊						
2	演歌メドレー	遠藤実 他	小島里美						
3	学園天国	井上忠夫	山下国俊						
4	勝手にシンドバット	桑田佳祐	真島俊夫	○ △	3. 5	中	4拍子。J=138。 d-moll。 途中爆唱あり。	サザンオールスターズのデビューシングル。沢田研二の「勝手にしやがれ」とピンク・レディーの「渚のシンドバット」をくっつけただけのタイトルらしい。この曲、途中で「ララアラララアララ♪」と歌わなければならないのだが、このとき筆者はなぜかいつも喉が痒くなってムせてしまい困っている。何とかならんのか、この曲。いや、編曲？	
5	川の流れるように	見岳章	小島里美	○	3	少	4拍子。J=60。 As-dur。 ダル・セーニョあり。		
6	箱根八里の半次郎	水森英夫	山下国俊	△	2	多	4拍子。J=76。 B-dur。 アルト・サクソ、トランペット、フルートにソロあり。		
7	ヘビローテーション	山崎燿	郷間幹男	◎	3	多	4拍子。J=172。 Es-dur。 ダル・セーニョあり。		
8	ヨコハマ・メドレー	筒美京平 他	岩井直溥	○ △	2	中	4拍子。J=110。 c-moll。 転調あり。 メドレーなのにテンポ変化なし。	石田あゆみの「ブルー・ライト・ヨコハマ」、五木ひろしの「よこはま・たそがれ」、青江三奈の「伊勢佐木町ブルース」、平野愛子の「港が見える丘」という横浜を題材とした4曲をメドレーに仕立てたもの。全体的にムーディーな雰囲気漂っていて素晴らしいと言いたいところだが、ほとんどの団員が「古ッ!」と思いつつ演奏しており、なおかつ、半数以上の団員は「港が見える丘なんて知らないなあ」と思いつつ演奏しているのはここだけの秘密である。	
坂本九が歌って大ヒット。その後、ウルフルズや吉本興業の芸人達にもカバーされた名曲。好きな女の子に声をかけられないモジモジ男を歌っているが、いくら何でもこの男ダメすぎだろうという気がしてつい笑ってしまう。ただし、「お前は人のことを笑えるのか」というツッコミは全面的に禁止されている。ちなみに、せんだみつおには「明日がないさ」という歌があるらしい。試しに聴いてみたら「明日がナハッ、ナハッ!」だって…。やつぱりね。笑									
近所の中華料理屋に行くといつも中国語バージョンの「北国の春」が流れている。そんな千昌夫の「北国の春」、細川たかしの「北酒場」、美空ひばりの「川の流れるように」をメドレーに仕立てた一曲。ゆったり↑アップテンポ↓しつとり、と変化に富みつつも非常にまとまりの良いメドレーはまるで中華料理のフルコースを思わせる満足感で、思わず舌鼓を打ってしまうこと請け合いだ。									
フィンガー5の大ヒット曲だが、小泉今日子のカバーもヒットしている。ついでにSMAPの香取慎吾も慎吾ママとしてカバーしている。お客さんを巻き込んだ「アー・ユー・レディ!?!ヘーイヘーイヘーイヘーイ!」という掛け声で冒頭から熱狂的に盛り上がる曲。熱狂的に盛り上がりすぎて天国に召されてしまう人もいるとかいえないとか。もちろん、今回は吹奏楽版であるため、そのような掛け声は入らないのでご安心を。									
美空ひばりの生前最後のシングル曲。20世紀末に「三大テノール」と呼ばれた、パヴァロッティ、ドミンゴ、カレラスの来日公演でも歌われていた。作詞を手がけた秋元康によると、この「川」はニューヨークのイーストリバーであるという。2000年には、その秋元康が監督を務め、この曲を主題歌にした同名映画も作られている。									
氷川きよしのデビューシングル。「箱根八里」というのは、旧東海道における小田原宿から箱根宿までの四里と箱根宿から三島宿までの四里を合わせた八里をいう。ちなみに「箱根の山は天下の嶮」という滝廉太郎の有名な歌の正式名称も「箱根八里」である。それはともかく、半次郎というのが誰なのかは分からなかった。やだねったら、やだね♪									
AKB48の17枚目のシングル。第2回選抜総選挙において、大逆転で前田敦子を破り1位となった大島優子がセンターを勝ち取った曲である。2期生の絶対エースであった大島優子も1期生の絶対エース前田敦子にはやはり勝てないのかと誰もが諦めかけたその時、歴史は動いたのである。この当時の筆者は大島優子のファンであったため、選挙結果を見て狂喜乱舞したものだ。しかしその後しばらくして、松原夏海に心変わりしたことは局地的に有名。ちなみに、この総選挙では松原夏海も…え？関係ない？あ、そうですか。泣									

